



TACT FESTIVAL 2022

タクト・フェスティバル 2022 5/1(Sun)~5/8(Sun)

DANCE 4 TACT FESTIVAL 2022 × ひびのこづえ

子どもと大人と一緒に楽しむことのできるパフォーマンスの祭典TACT FESTIVAL。今年の見どころのひとつはコスチュームアーティストひびのこづえが衣装を手がける4つの作品だ。

「コスチュームは常に身体ありきです。着る人の身体がリアルに動いてこそ、観客のさまざまな感情を呼びおこします。コンテンポラリーダンスは世界共通の言葉のいらないアート。美しいだけでなく思考させる作品や身体の距離感を大胆に捉えた作品もあります」とひびのさん。

4つのプログラムのひとつ「WONDER WATER」では、サーカスや大道芸、ダンスで活躍する谷口界とハチロウのユニット・ホワイトアスパラガスが幻想的な海の世界を表現したパフォーマンスを繰り広げる。魚やクラゲ、イソギンチャク、海藻などのカラフルな衣装に身を包んだアクロバティックな身体表現とジャグリングを、川瀬浩介の音楽がさらに鮮やかに彩る。

「バルーンを使った衣装になります。重力との闘いはダンスにとって永遠のテーマですが、この作品ではヘリウム風船を使った衣装で、浮力に抗いながら側転とかしちやいます」

「UP AND DOWN」では3人のダンサー（大宮大

奨、川合ロン、高村月）が、裸の王様、三匹の子豚、シンデレラ、赤ずきんに変身しながら転がるように踊り続ける。おとぎ話のように人生も浮き沈みがつきものだけど、最後はハッピーエンドにしたい！という願いが込められた作品だ。

「子育て真っ最中の現代音楽家・原摩利彦さんに参加してもらいました。跳ねたり伸び縮みしたりする衣装でアップ&ダウンや解放感を表現しています」

「ROOT：根」では、ひびのさんが衣装を担当した音楽劇「星の王子さま」（2020年）でも注目されたダンサーのアオイヤマダ、若手の音楽家・小野龍一がタッグを組む。森に住む巨大なカエルに扮したアオイヤマダが脱皮を繰り返しながら、さまざまな生き物に変異していく。

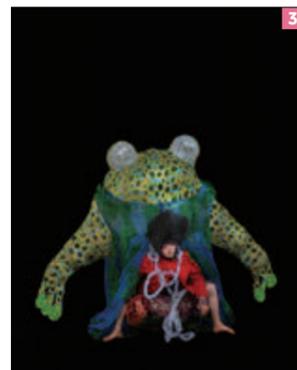
「劇場の機構を生かして衣装を次々に変化させます。最後は人間になり、身体から生えた根に包まれて森の土に還っていきます。地球環境を救う自然界の生命の循環に思いをめぐらせてほ

しい作品です」
「Piece to Peace」では、世界を舞台に活躍する最高のデュオ、島地保武と酒井はなが登場。太古の海の泡から始まった生命が異なるものへと変化してゆく悠久の時を表現する。また本作では、研ぎ澄まされた彼らの身体性と表現力に衣装と音楽によってあえて不自由さを与える試みにも注目したい。

「2人の衣装は繋がって一体化しています。さらに吊されたままのその服にはたったひとつの穴からしか入ることができません。彼らは密着した状態で衣装を引っ張りあい、あらゆる動きがたえず布のテンションに影響します」

鍛えぬかれたダンサーたちの身体が独創的な衣装をまとい、無限のイメージを展開する今年のプログラムは、子どもにも大人にも疲れれた心と身体を開放する機会になるはずだ。

取材・文：住吉智恵
(アートプロデューサー・RealTokyo ディレクター)



■ DANCE 4 TACT FESTIVAL 2022 × ひびのこづえ ダンスパフォーマンス

5月1日(日) ▶ 5日(金) 衣装：ひびのこづえ

WONDER WATER 写真 1	UP AND DOWN 写真 2	ROOT:根 写真 3	Piece to Peace 写真 1
5月1日(日) 12:30 5月2日(月) ▶ 5日(金) 11:00 ロワー広場 【無料】 出演：ホワイトアスパラガス(谷口界・ハチロウ) 音楽：川瀬浩介	5月1日(日) 15:00 5月2日(月) ▶ 5日(金) 14:00 シアターウエスト 【有料】 出演：大宮大奨、川合ロン、高村月 音楽：原摩利彦	5月1日(日) 17:30 5月2日(月)、5日(金) 17:00 シアターウエスト 【有料】 出演：アオイヤマダ 音楽：小野龍一	5月3日(火)、4日(水) 17:00 シアターウエスト 【有料】 出演：島地保武、酒井はな 音楽：川瀬浩介

「耳」で楽しむプログラムも盛りだくさん！

今年のタクト・フェスでは、誰もが気軽に楽しめるユニークな音楽企画もたくさん用意している。

そのひとつが、「コンサート・フォー・ワン・ファミリー」。一人の演奏家が一家族のためだけに演奏するという、贅沢なスタイルのコンサートだ。出演者や楽曲は当日のお楽しみで、旬の若手演奏家が「自分が小さい頃に出会いたかった音楽」を目の前で演奏する。家族だけでなくグループでも申し込み、1グループ6名まで、0歳から入場できる。この日の曲が「思い出のサウンドトラック」になるかもしれない。

もうひとつは朗読と生演奏でお届けする朗読音楽劇。物語をきっかけに音楽に触れることができる。ファミリー向けのグリム童話「ヘンゼルとグレーテル」は、木管五重奏でおとぎ

の世界に誘う。ティーンズにお薦めなのは、ホロコーストの記録として知られる名著「夜と霧」。ナチス・ドイツに迫害された作曲家の楽曲を弦楽三重奏で届ける。演奏家のプレトーク、朗読者のアフタートークで作品への理解も自然と深まるだろう。

さらに、池袋駅周辺で、「街角LIVE!」を開催。「変な音楽、集めました。」と題した企画では、街のあちこちでジョン・ケージの「4分33秒」など実験的な作品もおめみえする。豊島区内の公園では、演劇カンパニー「ヌトミック」によるパフォーマンス、池袋西口公園野外劇場では、一日を通してさまざまなコンサートが開かれる。思わず足を止めてしまうような、GWならではのユニークな街角企画が満載だ。ぶらぶらと池袋の街をめぐりながら楽しんでほしい。

■ 街角LIVE!

5月3日(日) 12:30~20:30 (計5ステージ)
池袋西口公園 グローバルリング 【無料】
5月3日(日) ▶ 8日(日) 池袋駅周辺 【無料】

■ コンサート・フォー・ワン・ファミリー

5月6日(金) ▶ 8日(日) 10:00~ 各日複数ステージ
アトリエイスト 【有料】 *1ファミリー(グループ)6名まで

■ 朗読音楽劇「ヘンゼルとグレーテル」

5月7日(土)、8日(日) 11:00 シアターイスト 【有料】
朗読：藤井咲有里 演奏：篠塚友里江(CI)、庄司雄大(Hr) ほか

■ ティーンズのための朗読音楽劇「夜と霧」

5月7日(土)、8日(日) 15:00 シアターイスト 【有料】
作：ヴィクトール・フランクル 翻訳：池田香代子 演出：田中圭介
朗読：中島ヨシキ(7日)、神尾晋一郎(8日) 演奏：石上真由子(Vn) ほか

■ 束芋×ヨルグ・ミュラー「もつれる水滴」

5月3日(日) 19:00
5月4日(月)、5日(火) 15:00 シアターイスト 【有料】
構成・演出：束芋/ヨルグ・ミュラー 出演：ヨルグ・ミュラー/間宮千晴

■ ファミリー寄席 5月6日(金) ▶ 8日(日) シアターウエスト 【有料】

詳細は特設サイトへ
<https://www.tact2022.jp>